

## 学校法人安城学園 寄附行為（抜粋）

### 第2章 目的及び事業

#### （目的）

第3条 本法人の主たる目的は、「建学の理念」と「建学の精神」と「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践を通して、創立者が目指した経済的・政治的・文化的に自立できる社会人を育成することによって、地域と国際社会に貢献することである。

#### （建学の理念）

第4条 本法人の建学の理念は「庶民性と先見性」である。

#### （建学の精神）

第5条 本法人の建学の精神は、「生命体構想」に基づき、「宇宙の中の一つの生命体である人が、個人として自立しつつありとあらゆる生命体と共生することによって、生きる意志と生きる力と生きる歓びに満ち溢れた鵬のような大局的な存在となること」である。

2 学校法人安城学園の設置校の歴史と伝統を踏まえ、かつ「設立時の建学の精神」の基礎の上に立って、建学の精神を理解し、実践することが肝要である。

#### （本学園の主たる事業）

第6条 本法人は、第3条の目的を実現するために、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) こどもの潜在能力開発事業
- (2) おとなの潜在能力開発事業
- (3) 地域の潜在能力開発事業

#### （設置する学校）

第7条 本法人は、第6条に掲げた事業を推進するために、次に掲げる学校を設置する。

〔次にを略〕

#### （行動指針）

第8条 本法人は、本法人の事業を推進するにあたって、「学校法人安城学園教職員憲章」に従って行動する。

2 本法人は、本法人の事業を推進するにあたって、教育基本法・学校教育法・私立学校法をはじめとする関係法令に従って行動する。

#### （教育方針）

第9条 本法人は、「智・徳・体・感・行」に基づいた学修（学習）システムと自学・共学システムを開発し、これに基づいて本法人の事業を行う。

2 前項の学修（学習）システムは、智性を鍛えるプログラム、徳性を鍛えるプログラム、身体を鍛えるプログラム、感性を鍛えるプログラム、行動を鍛えるプログラムを構成要素とする。

#### 附 則（抄）

（平成29年3月31日変更認可）

平成29年3月31日文部科学大臣認可のこの寄附行為は平成29年4月1日から施行する。

## 学校法人安城学園 用語集

### ■ 庶民性

「庶民性」とは、「民が栄えてはじめて国も富む」という思想を意味する。そして、民が栄えるためには学問を庶民の間に広めていくこと及び学問を修めた者がその成果を地域と社会に還元していくことが不可欠である。これが教育における「庶民性」である。この思想は、本法人において「創立者の信念」と「創立者の教育信条」の原点になっている。

さらに、本法人の場合、「女性の社会的地位の向上」が立学の趣旨であるので、この「庶民性」には「経済的自立・共生」とともに「政治的自立・共生」と「文化的自立・共生」、つまり「オイコス・ノモス」＝「家政」という意味が込められている。

### ■ 先見性

「先見性」とは、来るべき社会・来るべき時代・来るべき文明を想定して教育の理想像を描くことができること、その理想像の達成のために必要なものを粘り強く追求することができること、その理想像の実現に向けて全知全能を傾注できることを意味する。

### ■ 生命体構想

「生命体構想」とは、「宇宙の中の一つの生命体である人が、個人として自立しつつありとあらゆる生命体と共生することによって、生きる意志と生きる力と生きる歓びに満ち溢れた鵬のような大局的な存在となること」に基づいて教育を構想することを意味する。これは、莊子の「鵬」及びニーチェの「超人」をモチーフとして、法人の中興の祖である元理事長寺部清毅によって作られた。そして、創立85周年を機に作られた学園歌「いまここに」はこの「生命体構想」をモチーフに作詞されている。

### ■ 創立者の信念

「創立者の信念」とは、「男に生まれようと

女に生まれようと、この世に生を受けた限り誰でも無限の可能性を持っている。」という信念を意味する。

### ■ 創立者の教育信条

「創立者の教育信条」とは、創立者の信念に基づいて、「一人ひとりの潜在能力を可能性の限界まで引き出すのが教育である。」という教育に関する信条を意味する。

### ■ 設立時の建学の精神

設立時の建学の精神は以下の通りである。

(1) 安城学園高等学校、愛知学泉短期大学、愛知学泉短期大学附属幼稚園、愛知学泉大学、愛知学泉大学附属幼稚園、愛知学泉大学附属桜井幼稚園の建学の精神

「本学の歴史は、明治45年創立者寺部三蔵・寺部だいが、官尊民卑・男尊女卑の風潮に対して、技術の習得を通して女性の社会的地位の向上を図ったのに始まる。

創立者は女性の潜在能力の無限性を信じ、その潜在能力を可能性の限界まで引き出すことを終生の信条とし、真心・努力・奉仕・感謝の四大精神の実践によって自らも幾多の困苦を乗り越えてそれを具現した。

本学は、この創立者の精神に基づいて、家庭と社会に温かい心と新しい息吹を与えることのできる人間を育成することを教育の基本理念としている。

本学園歌に謳われている理想像「永遠の女」とは、この建学の精神を象徴したものに外ならない。(元理事長 寺部清毅直筆) である。

(2) 岡崎城西高等学校の建学の精神

「本校は、昭和37年4月学校法人安城学園（学園長故寺部だい先生）がその創立50周年を記念して、教育への熱烈な情熱と地域の強い要望により国家社会有用

の人才の開発育成を目途として設立した男子高校である。

創設者は、人間能力発展の無限性を確信し、その潜在する能力の可能性の限界までの伸展を終生の教育の信条とし、本校の設立にあたって、三河武士の伝統「質実剛健」「己に克つ」の実践、勇気と努力を以て困難に立ちむかう「剛毅闘達」な人間の育成を念願とした。

これが本校の建学の精神であり、本校の教育のすべてがここに発し、ここに結集される。」（元理事長 寺部清毅 直筆）である。

## ■ 教育

「教育」とは、一人ひとりの潜在能力を可能性の限界まで引き出すことである。（創立者の教育信条）

## ■ 「智・徳・体・感・行」

「智・徳・体・感・行」とは、「これから社会では、智性を鍛えること・徳性を鍛えること・身体を鍛えること・感性を鍛えることに加えて行動を鍛えることが必要である。」という考え方に基づいて、明治以来の学校教育モデル「知・徳・体」の「知」を「智」とし、感性を意味する「感」を加え、さらに「行動」を意味する「行」加えた学修（学習）モデルのことを意味する。

## ■ 4つのステージ

「4つのステージ」とは、以下のことを意味する。

### ◎ 第一ステージ

正課活動が展開される学校の中の場所と時間

### ◎ 第二ステージ

課外活動が展開される学校の中の場所と時間

### ◎ 第三ステージ

正課活動（課外活動）が展開される日本の中の地域と時間

### ◎ 第四ステージ

正課活動（課外活動）が展開される日本の中の地域と時間

## ■ 3つの挑戦

「3つの挑戦」とは、以下のことを意味する。

### ◎ 第一の挑戦（苦手への挑戦）

苦手なものを克服するための挑戦

### ◎ 第二の挑戦（上達への挑戦）

得意なものをさらに上達させるための挑戦

### ◎ 第三の挑戦（未知への挑戦）

未だ知らない自己に遭遇するための挑戦

## ■ 課題解決型行動特性

「課題解決型行動特性」とは、複数の人々が互いに協力・協働して共通の課題等を解決していくにあたって、一人ひとりのメンバーに要求される「前に踏み出す力」「考え方」「チームで働く力」という3つの能力を統合した社会人基礎力のことである。

## ■ 課題解決型学力

「課題解決型学力」とは、3つの力（課題を解決するために必要な知識・情報等の資源を獲得する力、獲得した知識・情報等の資源を活用する力、獲得した知識・情報等の資源を活用して課題を解決する力）を統合したpisa型学力のことである。

## ■ 自然体

「自然体」とは、日本を含む東洋において古くから重要視されてきた伝統的な身体知のことである。これは、「心・技・体」の一一致、「陰・陽」のバランスなどなど身体の理想的なあり方を示している。「身心一如」と言ってもよい。身体をなおざりにしてきた日本の近代化に対する反省に基づいて、失われつつある身体感覚を取り戻し、来るべき時代の庶民の身体文化を再構築する上で不可欠なコンセプトである。

## 学校法人安城学園の社会人基礎力の12の能力要素の定義

### I 前に踏み出す力（アクション）

#### 1) 主体性

##### 【定義】

目的・目標を自己のものとし、物事を一步でも前に進めるために成すべきことを自発的に探し出して積極的に行動できる力

### II 考え抜く力（シンキング）

#### 4) 課題発見力

##### 【定義】

実態の的確な把握と分析に基づいて、問題点を洗い出し、目的・目標の達成のために有効でかつ納得できる課題を提案できる力

### 2) 働きかけ力

##### 【定義】

目的・目標の達成に向けて、参加と協力・協働の輪がより広がる・より深まるように周囲の人々に対して積極的に働き掛ける力

### 5) 計画力

##### 【定義】

課題解決のために必要な具体的な手順・方法・スケジュール等をP D C Aサイクルに落とし込んだ形で実施計画を提案できる力

### 3) 実行力

##### 【定義】

目的・目標を達成するという強い意志の下に、P D C Aサイクルの全ての局面で決められた事を期限までに確実に成し遂げる力

### 6) 創造力

##### 【定義】

固定観念や既存の発想に捉われない自由な発想・コミュニケーション・行動により、課題解決に繋がる新しい価値を生み出す力

## III チームで働く力（チームワーク）

### 7) 発信力

##### 【定義】

自分の主張したいことを分かり易く整理して、相手に的確に理解してもらえるように伝えることができるコミュニケーション能力

### 10) 情況把握力

##### 【定義】

自分の立場・役割・使命等を的確に認識して、自分と周囲の人々との関係性や進行中の物事との関連性を踏まえて行動できる力

### 8) 傾聴力

##### 【定義】

相手の主張に対して心から丁寧に耳を傾けることができ、相手の主張したいことを的確に理解できるコミュニケーション能力

### 11) 規律性

##### 【定義】

人と人との約束事である一般社会のルール・慣習及びチームのルール・慣習等を十分理解し、それらを守った上で行動できる力

### 9) 柔軟性

##### 【定義】

お互いの考え方や立場等に相違点があったとしても、それらを整理して理解した上で物事を一步前に進める方向で対応できる力

### 12) ストレスコントロール力

##### 【定義】

ストレスの解消方法を身に付けているだけでなく、ストレスそのものを自己の成長のチャンスと捉えて前向きに行動できる力